

基本目標	こころ豊かに夢をはぐくむまちづくり【教育・文化】
施策名	文化・芸術
<p>蒲郡独自の文化・芸術活動を守り育てていくために、市民との協働による文化講演事業の充実、市民団体の自主的な活動の支援、郷土の伝統文化や伝統産業の保存・活用、文化施設・設備の計画的な改修などの取組を推進します。</p>	
<p>施策が目指す蒲郡市の将来の姿</p> <ul style="list-style-type: none"> ●文化・芸術活動が日常に溶け込んでいます。 ●郷土の歴史や文化、産業を学び、蒲郡に誇りを持つ市民が増えています。 	

◆具体化した施策の取り組み実績

1 市民参加型・共催型の文化公演の実施

項目	平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度計画
文化公演事業	—	愛知県立芸術大学管 弦楽団特別演奏会 362 人 宝くじふるさとワクワク劇場 801 人	—
指定管理者による自主事業	市民会館まつり 4,080 人 東北支援チャリティー 1,257 人	市民会館まつり 4,150 人 クリスマスジャズライブ 205 人	市民会館まつり他 (予) 5,000 人 クリスマスジャズライブ (予) 250 人
図書館文学講座	講演:短歌の楽しみ 講師:穂村 弘 71 人	講演:植物の生きざまを見 る 講師:いかりまさし 83 人	講演:はじめの川柳 講師:鈴木順子 80 人

2 郷土の伝統文化の保存と活用

項目	平成23年度実績	平成24年度計画	平成25年度計画
コミュニティ活動事業	東松原常会おかぐら等新調	東小江常会チャラボコ太鼓継承	東小江常会チャラボコ太鼓継承
文化財保護事業	三谷祭等保存振興に伴う補助	三谷祭等保存振興に伴う補助	三谷祭等保存振興に伴う補助

3 文化財の活用と市民団体との連携

項目	平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度計画
史跡天然記念物整備事業	第6次上ノ郷城跡発掘調査、報告書刊行	第7次上ノ郷城跡発掘調査	今後の検討
上ノ郷城跡を愛する会	観月会	観月会(台風により中止)	観月会・親子ウォーキング
清田の大クス愛好会	土壌改良	土壌改良	土壌改良

4 文化施設の充実と改修計画の策定

項目	平成23年度実績	平成24年度計画	平成25年度計画
市民会館修繕及び工事	<ul style="list-style-type: none"> ・東棟非常照明バッテリー取替工事 ・大ホール舞台床改修工事 ・駐車場白線設置工事 ・東ホールトイレ自動水栓取替工事 ・消火器等取替工事 ・東ホール空調機整備他工事 ・中ホール舞台改修工事 ・劣化消火栓ホース取替工事他1件 	<ul style="list-style-type: none"> ・屋上防水改修工事 ・蓄電池直流電源設備更新工事 ・館内親子時計取替工事 ・ボイラー更新工事 ・スタジオ他改修工事 ・会議室2空調機取替工事 ・大会議室遮光カーテン取替工事 ・スタジオカーテン工事 ・車庫横倉庫シャッター取替等修繕ほか修繕6件 	<ul style="list-style-type: none"> ・屋上防水工事 ・大・中ホールホリゾン幕等取替工事 ・東ホール遮光カーテン取替工事 ・消防進入口扉取替工事 ・消防設備改修工事 その他工事及び修繕
市民会館の改修計画の策定	—	公共施設見直し検討委員会立ち上げ	教育施設整備事業基金活用検討会立ち上げ
図書館蔵書・資料の充実	年度末 280,374冊	年度末 280,888冊	年度末 280,000冊見込
図書館整備計画の策定	—	公共施設見直し検討委員会立ち上げ	教育施設整備事業基金活用検討会立ち上げ

◆評価指標

指標名	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	将来目標
市民参加型・共催型の文化公演参加率	目標値		80%	80%	90%
	実績値	52%	89%		平成32年度
郷土の伝統文化の保存と活用経費	目標値		3,658千円	3,600千円	3,500千円
	実績値	3,247千円	3,151千円		平成32年度
文化財保護費と市民団体との連携経費	目標値		985千円	1,368千円	7,500千円
	実績値	7,735千円	4,723千円		平成32年度
市民会館の修繕・工事費	目標値		67,500千円	29,500千円	4,000,000千円
	実績値	8,485千円	76,812千円		平成32年度
図書館蔵書・資料数対前年度比	目標値	98.0%	98.0%	99.0%	100.0%
	実績値	98.9%	100.2%		平成32年度
図書館文学講座参加率	目標値	70%	75%	75%	80%
	実績値	71%	83%		平成32年度

◆指標の説明・考え方

指標名	説明・考え方
市民参加型・共催型の文化公演参加率	定員に対する参加者割合。講座の人気度などを測る。
郷土の伝統文化の保存と活用経費	当該年度の文化財保護事業費補助金。
文化財保護費と市民団体との連携経費	当該年度の文化財保護事業費(補助金を除く)。
市民会館の修繕・工事費	当該年度の修繕料及び工事請負費。
図書館蔵書・資料数対前年度比	前年度に対する蔵書・資料数の割合。安定した数の蔵書・資料の確保ができているかどうかを検証。
図書館文学講座参加率	定員に対する参加者割合。講座の人気度などを測る。

◆指標の分析

<p>・「市民参加型・共催型の文化公演参加率」－文化公演事業については、民間主導で実施すべきとの考えから、その一つとして、平成22年度より指定管理者による自主事業を行ってきた。この3年間において、利用者の声を聞く等しながら内容を充実させつつあり、少しずつではあるが数字に表れ始めている。</p> <p>・「郷土の伝統文化の保存と活用」－伝統文化の保存と活用について、補助金交付申請に対し、市予算および助成金をもって対応し、一定の水準を保っている。</p> <p>・「文化財の活用と市民団体との連携」－観月会は台風接近のため中止となったが、市民団体とともに活動する場として、大クスの土壌改良事業ともども継続されている。史跡天然記念物整備事業については、当初今後の検討ということで目標値を設定したが、大クスの枯枝落下をうけて事故防止のため保全処置作業を行った。</p> <p>・「市民会館の修繕・工事費」－市民会館は老朽化が顕著で、全てを修繕・改修するには費用が膨大にかかる。現在、少しの雨でもホールや会議室に雨漏りが生じる状態である。</p> <p>・「図書館蔵書・資料数対前年度比」－対前年度比現状に適した図書館施設の蔵書・資料の収蔵数は約28万冊前後であるため、その範囲を逸脱しない方向での蔵書・資料管理を行うことができている。</p> <p>・「図書館文学講座参加率」－図書館文学講座については、定員の7割前後が講座に参加している。講座の日程、講師の人選なども、講座の人気度を左右する要素となりうるが、魅力的な内容の提示がなければ、市民の自発的な参加を促すことはできないため、現在の方向で進めていくのが望ましい。</p>
--

◆今後の方針

施策の課題	<ul style="list-style-type: none">・「市民参加型・共催型の文化公演の実施」－平成22年度より市民会館の指定管理者による自主事業を行ってきた。現在、自主事業の費用は指定管理料の余剰金を当てている状態であるため、年度によって自主事業内容や実施事業数に差ができる。・「郷土の伝統文化の保存と活用」－小道具類の老朽化により補修・新調等が必要となるが、今後原材料入手の難航や、技術的に復元困難な状況が懸念される。また、少子高齢化による担い手不足についても不安がある。・「文化財の活用と市民団体との連携」－市の単独予算で費用を賄っており、埋蔵文化財発掘調査のように多額の経費を必要とする事業については、費用的に不安定な状況にある。・「市民会館の修繕・工事費」－市民会館については大規模な改修が必要となり、多額の予算措置を伴うため、文化スポーツ課が単独で改修計画を策定することは出来ない。・「図書館文学講座参加率」－講座日程については、事前に市の他イベントのスケジュールを十分情報収集した設定に心がけ、个性的かつユニークな講師人選を行うことで、講座の人気度を高める。・「図書館蔵書・資料数対前年度比」－図書館蔵書・資料数という量的な部分については対応できているが、質的な部分については、数値で把握することが困難である。利用者アンケート結果を参考にした蔵書・資料購入を心がけるとともに、公共図書館としての役割を果たすために全ジャンルに渡るバランスの取れた蔵書・資料購入に留意する。
-------	--

今後の施策展開	<ul style="list-style-type: none">・「市民参加型・共催型の文化公演の実施」－市民会館指定管理者や文化協会と連携を図る。現在、市費単独での文化公演事業の実施は考えていないが、他財団や国の助成事業の公募に応募し対応する。・「郷土の伝統文化の保存と活用」－市の補助金よりもその他財団等の助成金に依るところが大きく、計画的な市の予算措置が必要である。・「文化財の活用と市民団体との連携」－限られた予算を効果的に措置し、文化財の保護・活用を安定的に行なう必要がある。・「文化施設の充実と改修計画の策定」－市民会館、市民体育センター、図書館、公民館、公園グラウンドなどの文化施設や体育施設は、多額の改修費を必要とするため、市全体の蒲郡市公共施設見直し検討委員会で整備計画を決定していく。現状は、補修工事や修繕料で対応していく。今後の具体的な整備計画を検討していくため、教育施設整備事業基金活用検討会により今後の改修、整備の方針を議論していく。・「図書館に関する短期的に考えられる施策の展開としては、安定した図書館運営のため、次回指定管理者公募では指定管理期間の3年度から5年度間への延長を提案する予定である。
---------	---

課長評価 (文化スポーツ課)	構成事業の 進捗状況	B: おおむね計画どおり進行している。
	施策の 進め方	B: 一部見直しが必要である。
	コメント	市民会館を始めとする文化施設は老朽化が進んでいるため、市民が快適に利用できるような施設の改善・整備が必要であり、平成25年度に立ち上がった教育施設整備事業基金活用検討会において早期の整備計画の構築が望まれる。 文化公演事業は行革委員会でも指摘があったとおり、民間主導での開催を目指し、市民会館の指定管理者・文化協会等との連携を図っていく方針である。また、公募のある公演事業については、市が関わるべきと判断した場合は積極的に動いていくが、定期的ではないため詳細な予定を立てることは難しい。
課長評価 (博物館)	構成事業の 進捗状況	B: おおむね計画どおり進行している。
	施策の 進め方	A: 現状のままでよい。
	コメント	郷土の伝統文化については、予算の範疇で一定の成果を上げている。今後も市民団体とともに文化財保護に努めながら、その活用を図る。
課長評価 (庶務課)	構成事業の 進捗状況	B: おおむね計画どおり進行している。
	施策の 進め方	B: 一部見直しが必要である。
	コメント	図書館は、市民のニーズが高い施設であり、その整備についても期待が大きいものと思われる。そのことも踏まえながら、今後、教育施設整備事業基金活用検討委員会の中で優先順位の検討をしていきたい。
部長評価	施策の 進捗状況	B: 目指す将来像実現に向けておおむね計画どおり順調に進行している。
	コメント	文化・芸術は市民から醸成されるものであり、行政が担うべきものは、活動や発表の機会や場所を提供し、市民または市民団体の活動が活発に行えるように協力、調整などを行うことであり、この点については一定の成果があがっている。しかし、施設の面では、市民会館、図書館を始めすべての施設において老朽化が進み、大きな課題となっている。公共施設見直し検討委員会、教育施設整備事業基金活用検討会での検討を早急に進める必要がある。

施策に属する事務事業一覧

総合計画	所管課	番号	事業名	人件費を除く事業費(千円)	人件費(千円)	人工	総合評価	事業の種類別	市長マニフェスト	実施計画
5-3	情報NC	41	科学館展示事業	6,134	9,465	2.30	B	カ	2	○
5-3	情報NC	42	科学館教育普及事業	7,328	11,528	3.00	A	カ	2	×
5-3	情報NC	43	科学館(センター)宣伝事業	3,522	8,473	2.20	A	カ	—	×
5-3	情報NC	44	科学館施設維持管理事業	5,112	3,064	0.60	B	ウ	—	×
5-3	庶務課	478	教育施設整備事業基金積立事業	330,732	908	0.10	B	エ	4	×
5-3	庶務課	479	図書館管理事業	118,784	1,279	0.15	B	ア	—	×
5-3	文化スポーツ課	503	俊成の里短歌大会開催事業	530	3,417	0.55	A	オ	—	×
5-3	文化スポーツ課	504	文化振興事業	2,500	3,622	0.80	B	オ	—	×
5-3	文化スポーツ課	510	文化公演事業	1,415	930	0.25	C	カ	—	×
5-3	文化スポーツ課	511	市民会館管理運営事業	163,019	3,391	0.80	B	カ	4	○
5-3	博物館	533	博物館施設維持管理事業	7,593	6,428	0.80	B	カ	—	○
5-3	博物館	534	郷土資料の収集保管及び調査研究事業	1,091	4,506	0.70	B	カ	—	○
5-3	博物館	535	貸しギャラリー運営事業	397	4,811	0.80	B	カ	—	×
5-3	博物館	536	企画展等開催事業	972	6,183	0.90	B	カ	—	×
5-3	博物館	537	文化財保護事業	5,374	5,328	0.80	B	カ	—	○